

2024年3月29日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

第3回 南山大学「人間の尊厳賞」受賞者発表について

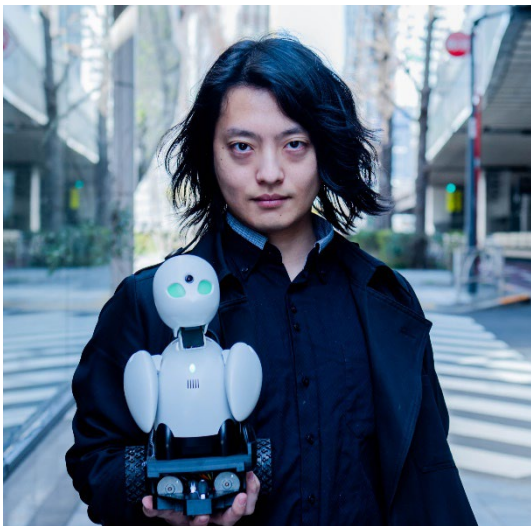
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

南山大学は、2021年に創立75周年を記念して教育モットー「Hominis Dignitati—人間の尊厳のために」を冠した南山大学「人間の尊厳賞」を創設しました。この賞は、自らの尊厳と他者の尊厳を認め、一人ひとりをかけがえのない存在として様々な活動に取り組む個人または団体・組織から学内外を問わず、毎年、1名または1団体を表彰するものです。このたび、第3回南山大学「人間の尊厳賞」受賞者を下記のとおり決定いたしました。取材、報道等におきましてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、取材にお越しいただける場合は、南山大学「人間の尊厳賞」事務局までご連絡をお願いいたします。

記

1. 受賞者

吉藤 オリィ氏

[プロフィール]

分身ロボット発明家 株式会社オリィ研究所所長 CVO。

1987年奈良県生まれ。

高校時代に電動車椅子の新機構の発明に関わり、2005年にインテル国際学生科学技術フェア（ISEF）に日本代表として出場し、グランドアワード3位受賞。

その後、早稲田大学創造理工学部に進学。自身の不登校の体験をもとに、対孤独用分身コミュニケーションロボット

「OriHime」を開発し、この功績から2012年に「人間力大賞」を受賞。また、寝たきりでも働けるカフェ「分身ロボットカフェ DAWN」を開発。同プロジェクトは2021

年度の「グッドデザイン賞」15000点の中から最高賞であるグッドデザイン大賞に選出された。

海外では、2022年7月 Prix Ars Electronica 2022 digital communities 部門にてゴールデンニカ（最高賞）受賞。その他受賞歴多数。

「ベッドの上にながら、会いたい人と会い、社会に参加できる未来の実現」が理念。

2. 授賞理由

吉藤オリィ氏は、「孤独」という誰もが直面しうる社会問題に対して、電子通信技術と起業によって解決の糸口を見出してきた。とりわけ同氏が開発した分身ロボット「OriHime」は、職場や学校、野外行事などに遠隔から出席し、臨場感を持って他者とのコミュニケーションを図ることを可能にした。このロボットは重度の身体障がい者、外出しづらい人々など、さまざまな困難を抱えた幅広い利用者を想定でき、また、寝たきりになりうるすべての人にとっても希望の光になりうる。

孤独に苦しむ人に生きる勇気を与え、不完全な社会を自らの努力でより良い場所にしようとする姿勢は「人間の尊厳」への理解をさらに多くの人々に広げ、「人間の尊厳」という理念の具現化を推進する実績であるといえる。

3. 表彰式および記念講演会

吉藤氏の表彰式および記念講演会を開催予定です。

詳細が決まり次第、本学ホームページにてお知らせいたします。

以 上

■本件に関するお問い合わせ先

南山大学「人間の尊厳賞」事務局

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地

Phone: 052-832-3113 Fax: 052-832-0666 Email: gaku-koho@nanzan.ac.jp